

学校関係者評価結果（ハーベスト医療福祉専門学校 平成 26 年度）

平成 27 年 2 月 6 日（金）

平成 26 年度第 2 回学校関係者評価委員会は、学校関係者として、有限会社ハーティ、姫路市介護サービス第三者評価機構、姫路市保育協会、ゴダイ株式会社、高校教員、保護者、同窓生より計 7 名の委員の参画を得て実施した。

学校関係者評価委員会の主な意見

【全般的な意見】

- ①委員会の要望事項に前向きに取り組む姿勢が見られることは高く評価できる。
- ②学生アンケート結果は昨年度と変わらず高い評価を得ているが、「不適切」と回答した理由が分かるように、各問ごとに意見記述をしてみたい。
- ③教員の自己評価と学生のアンケート結果のズレについて検証したい。
- ④募集要項等の資料請求時、送られてきた資料には自筆の挨拶文が添えられているのは受験生への思いやりが感じられ、好感が持てる。

【学校経営への要望】

- ①ハーベストの教育方針は堅持してほしい。特に、心の教育の充実を希望する。
- ②現場では早期退職者が多い。就職後の職場に順応するためにも、ルールを守ることの意味を考えさせ、理解させたい。そうして社会性を育ててほしい。
- ③アンケートにおいて「不適切」や「やや不適切」の多い項目について、丁寧に対応して「不適切」等を減らしたい。そのためにも、学科やクラス単位で学生自身に改善策を考えさせたい。
- ④姫路市・西播介護サービス実践発表会の実行委員会に学生を参加させてほしい。
- ⑤卒後教育として実施している実技系の研修に学生も参加させてほしい。